

## がん検診推進事業の対象年齢の方へ がん検診無料クーポン券（緑色）をご利用ください

6月上旬に、がん検診推進事業の対象となる方に、大腸がん・乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポン券を送付しました。対象の方は無料で受診できますので、ぜひご利用ください。

有効期限を過ぎると、無料クーポン券はご利用になれません。また、期限が近づくと大変混み合いますので早めにご受診しましょう。

受診方法 無料クーポン券と一緒に送付した「無料クーポン券の使用法」をご覧ください。

無料クーポン券の有効期限は平成25年2月28日(木)です。

対象（平成25年3月31日現在）

がん検診名	年齢
大腸がん検診	41歳・46歳・51歳・56歳・61歳
乳がん検診（女性）	41歳・46歳・51歳・56歳・61歳
子宮頸がん検診（女性）	21歳・26歳・31歳・36歳・41歳

## 不活化ポリオワクチン定期接種のお知らせ

国では、不活化ポリオワクチンの導入を9月に予定しています。導入後は、保健センターで実施している生ポリオワクチンの接種を終了し、医療機関での不活化ポリオワクチンの個別接種（皮下注射）に切り替わる予定です。

生ポリオワクチンは合計2回の接種でしたが、不活化ポリオワクチンは初回3回、追加1回の計4回の接種が必要となります。

※すでに不活化ポリオワクチンを任意で接種した方は、不足分の接種を受けること

対象 生後3か月～7歳6か月

切り替え前	切り替え後
生ポリオ（経口接種／計2回）	不活化ポリオ（皮下注射／計4回）
① 生ポリオ2回接種済み	接種不要
② 生ポリオ1回接種済み	3回接種
③ 生ポリオ未接種	4回接種

9月以降、すぐに接種できるかは未定ですので、不活化

## 65歳以上の方へ

### 高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用の一部を助成します

高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種は、法律で定められた定期予防接種ではなく、任意の予防接種です。ワクチンの効果や副反応について、医師と相談の上、接種してください。

対象 ①・②のどちらも該当する方 ①接種日に満65歳以上の市内在住者 ②初めて肺炎球菌ワクチンを接種する方または過去に接種してから5年以上経過している方

接種の目的・効果等 高齢者の肺炎の原因となる病原体の中で、最も頻度の高い「肺炎球菌」による肺炎を予防します。接種後5年間は効果が持続するといわれており、5年以上の間隔をあけずに接種すると副反応が強くなる場合がありますのでご注意ください。

接種期間 7月1日(日)～平成25年3月31日(日)

※平成25年度の実施内容等については、詳細が決まり次第お知らせします。

接種方法 お住まいの地区の保健センターへ電話または直接申し込み、予約の交付を受けた後、市内の実施医療機関に直接予約の上、接種してください。

※申し込みをした方に、市内実施医療機関一覧表をお渡しします。（市ホームページでも確認できます）

費用 自己負担金4800円（接種費用7800円のうち市が3000円を助成します）

※生活保護世帯の方、中国残留邦人等の方には全額を助成します。（証明となるものを医療機関の窓口に提示してください）

※受診時に発熱等で、接種ができなかった場合、診察料がかかるとあります。

持物 予診票、自己負担金、健康保険証など

その他 すでに4月1日から6月30日までに接種した方や市外医療機関での接種を希望する方は、費用の一部を助成しますので、各保健センターにお問い合わせください。

ポリオワクチンの開始までポリオワクチンの接種を待つことはおすすめてできません。

生ポリオワクチン接種最終日

7月24日(火)：鷺宮保健センター / 8月21日(火)：栗橋保健センター / 8月22日(水)：中央保健センター

※その他の接種日は、24・25ページの健康コーナーをご覧ください。

なお、国では、4種混合ワクチン（ジフテリア、百日せき、破傷風、不活化ポリオ）についても、11月の導入を目指しています。